

K U D O N E W S

第35期 中間事業報告書 自平成17年7月1日 至平成17年12月31日

【第18号】

私たちは、常に時代を読み、新しい市場・技術・サービスを開発し、
フローレンスブランドを確立します。



工藤建設株式会社

	第31期 (H14/6)	第32期 (H15/6)	第33期 (H16/6)	第34期 (H17/6)	第35期中間 (H17/12)
					(単位: 億円)
売上高	293.5	273.8	248.6	277.5	79.0
経常利益 (△経常損失)	△1.6	7.6	△3.8	8.4	△4.0
当期純利益 (△当期純損失)	△1.5	2.5	△3.3	1.0	△11.4
総資産	254.2	240.3	226.4	206.8	192.6
株主資本	36.6	38.1	34.1	33.9	22.6

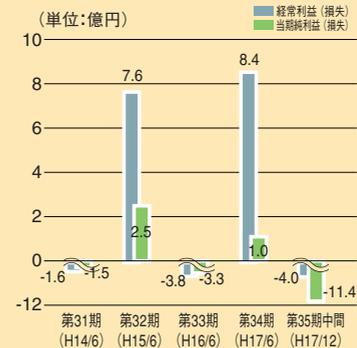
■ 1株当たり

	第31期 (H14/6)	第32期 (H15/6)	第33期 (H16/6)	第34期 (H17/6)	第35期中間 (H17/12)
					(単位: 円)
株主資本	282.15	293.35	263.08	261.20	174.41
当期純利益 (△当期純損失)	△12.21	19.79	△26.03	8.38	△88.20
配当金	5	10	10	10	2.5

■ 売上高 (部門別)



■ 経常利益(損失)/当期純利益(損失)



■ 総資産 / 株主資本



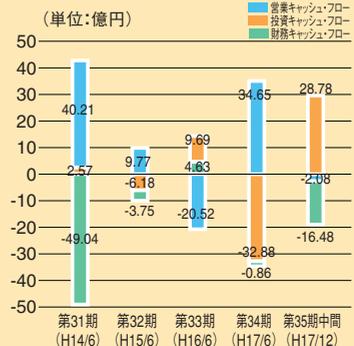
■ 株主資本比率



■ 1株当たり株主資本 / 1株当たり当期純利益(損失)



■ 連結キャッシュ・フロー



代表取締役社長 工藤 勇司

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当期における我が国経済は、雇用・所得情勢の改善や、株価が堅調に推移したことを背景に個人消費が底堅い動きを示し、高水準の企業収益を背景とした設備投資が増加基調を維持しました。平成14年1月を「景気の谷」として始まる景気の回復は、今後も拡張基調であると予想されます。

当グループが属します建設業界におきましては、公共建設投資の減少が続くなか、企業収益の回復を受けた設備投資等の需要が一部で活発化するとともに、個

人住宅部門においても、堅調に推移いたしました。また、不動産業界におきましては、堅調な個人消費を背景とし、分譲マンションの着工戸数も高水準で推移したものの、一部では地価の上昇も見られるようになり、少なくなる開発適地と、在庫水準は今後の懸念材料となっています。加えて、年末にかけて起きた「構造計算書偽造問題」では、建設・不動産業界は様々な意味で打撃を受けました。

このような情勢のなか、建設事業における民間工事部門におきましては、賃貸マンションのオーナー様による「賃貸経営オーナー会」との親交を中心に地域密着の営業を行い、設計・施工における品質重視の建設を行なっております。

「いいね、地下室のある暮らし」をキャッチコピーとして、大型地下室付き住宅を中心とする住宅部門におきましては、地元「横浜」のみならず、県外のお客様からの受注を含め順調に推移し、「フローレンスガーデン」として累計で900棟余の実績を残すことができました。また、当期は、建設事業において新規事業として取り組んでまいりました屋上防水技術を生かしたマンション大規模修繕業務を本格的に営業展開し、ビルのコンバージョン提案を含め今後の事業の柱となるべくスタートを切ったところです。

平成15年より開始いたしました、その他事業における「高齢者福祉事業」につきましても、「フローレンスケアたかつ」「フローレンスケア美しが丘」に続く施設として、「フローレンスケアたまプラーザ」を平成17年4月に開所するとともに、今春には4番目の施設として、小規模多機能施設である「フローレンスケア港南台」の開所を予定いたしております。

当中間連結会計期間における当グループの連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、79億円（対前年同期比32.2%減）、経常損失は、4億8百万円（前中間連結会計期間経常利益3億20百万円）、そして固定資産売却損40百万円及び減損損失5億97百万円を特別損失に計上して、中間純損失は、11億45百万円（前中間連結会計期間中間純利益94百万円）となりました。

これを事業別のセグメントで見ますと、建設事業につきましては、売上高47億76百万円（対前年同期比9.6%減）、営業利益は84百万円（対前年同期比62.9%減）となりました。不動産事業につきましては、売上高28億29百万円（対前年同期比54.9%減）、営業利益は70百万円（対前年同期比88.2%減）となりました。また、その他事業につきましては、売上高3億56百万円（対前年同期比86.7%増）、営業損失は41百万円（前中間連結会計期間営業損失23百万円）となりました。

次に当社単独の業績といたしましては、売上高は、59億26百万円（対前年同期比39.9%減）、経常損失は、5億22百万円（前中間会計期間経常利益2億43百万円）、中間純損失は、10億36百万円（前中間会計期間中間純利益74百万円）となりました。

連結キャッシュ・フローの状況につきましては、不動産事業支出金は減少したものの、税金等調整前中間純損失の計上や、未成工事支出金の増加などにより、営業活動によるキャッシュ・フローが2億8百万円マイナス（前中間連結会計期間は30億47百万円プラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入などにより、28億78百万円プラス（前中間連結会計期間は30億16百万円マイナス）となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金の減少などにより、16億48百万円マイナス（前中間連結会計期間は3億92百万円プラス）となっております。

また、当中間連結会計期間末残高における有利子負債の総額は、前中間連結会計期間末残高に比べて18億44百万円減少して、92億31百万円となりました。

この結果、現金及び現金同等物の中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末残高と比べて10億21百万円増加して、34億81百万円となりました。

当社は、利益配分につきましては、企業体質の強化・充実並びに事業展開を勘案し、また、安定的かつ継続的に利益還元を行なうことを基本方針としておりますが、当中間期の配当金につきましては、以上のような業績の結果、1株当たり2円50銭とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成18年3月

戸建て住宅事業の強化によって、沿線の建て替え需要を掘り起こします。

当社では、戸建て住宅建築を希望されるお客様のライフスタイルにお応えするため、魅力的な商品の企画や品揃えを拡充するとともに、安心してお任せいただける施工技術の習得に取り組んでいます。

～「フローレンスガーデン」ブランドを確立する住宅事業部～

“いいね、地下室のある暮らし”がキャッチコピー。大型地下室付き住宅「フローレンスガーデン」

『フローレンスガーデン』は、建築土木工事で培った豊富な経験と高度な技術で商品化した2×6工法輸入住宅です。お客様一人ひとりのニーズやライフスタイルの多様化に柔軟に対応できるのはもちろん、美しい街並みを彩る豊かなデザイン性と耐久性に優れた住まいです。



地下室と一体となった重厚感ある2×6工法の家



ベアメント工法で明るく広々とした地下室を実現

ベアメント工法が広がって
明るい地下室を実現

G (GROUND ROOM/グラウンドルーム) とは、従来からの地下室ではなく、

地面（グラウンド）にアイレベルのある“半地下室”のこと。この半地下室を実現する1階と同じ大きさの基礎を兼ねたベアメント工法は、2000年に（財）日本建築センターの構造耐力性能評価

を取得しました。その信頼性の高さで、現在までに800棟を超える地下室付住宅の実績を確立しています。

最高水準の基本性能を誇る
安心の2×6工法

2×6工法住宅は、2×4工法の約1.5倍の壁厚を誇ることから、壁パネル内に140mm厚の断熱材を装填できます。このため、省エネ性に優れ、環境保護に貢献します。また、構造計算により、性能評価においても最高レベルの耐震性を実現しています。

ご入居者との
パートナーシップを大切に.....

フローレンスガーデンに入居されている方は、いつまでも変わらない大切なパートナーとの考えから、定期点検はもちろん、住まいに関するご相談にも随時きめ細かくお応えしています。その一環として、2005年7月には、2000年11月に実施した「20年保証システム」を、フローレンスガーデン第一棟目のお引き渡し物件にさかのぼって適用したほか、お引き渡し後6年目以降のお住まいを対象とした無償点検をスタートするなど、住むほどに満足度を高めていただけるサービスをご提供しています。

～お客様の多様なニーズにお応えする建設事業部～

無印良品の木造住宅「木の家」のネットワークパートナーに。

2005年9月、当社は「無印良品」のポータル&コミュニティサイトを運営する“ムジ・ネット株式会社”のネットワークパートナーとなり、「無印良品」が企画・販売する戸建て住宅「木の家」のモ

デルハウス展示と営業を展開することとなりました。

「木の家」の特長は、建築工学に基づいた安全なSE (Safety Engineering) 構法の採用によって、開放感のある「一室空間」を可能とするもので、住空間を自由に編集できる木造住宅づくりをご提案する商品です。



景観に馴染むシルバーの箱のようなシンプルな外観



生活の変化に応じて間取りを変えられる「一室空間」

デザイン性に富んだ鉄筋コンクリート (RC) 造り戸建て住宅建設に進出。

お客様の多様化するニーズに対応するため、地震、台風等の災害に強く、耐久性にも優れ、また敷地形状に合わせた自由設計度の高い鉄筋コンクリート (RC) 造り戸建て住宅建設を強化します。「躯体工事」を自社で施工することで一段の品質向上を目指します。今春には、新規に採用する社員を3ヶ月程度の外部研修に派遣し、専門技術の習得を行なう等の体制づくりにも取り組んでまいります。



鉄筋コンクリート造り (RC) 戸建て住宅

■ 中間連結貸借対照表 (平成17年12月31日現在)

資産の部	当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末	前連結会計年度末(参考)
(科目)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
流動資産	11,453	12,872	9,569
現金預金	4,121	3,012	2,859
受取手形・完成工事未収入金等	1,263	945	1,259
販売用不動産	—	257	—
未成工事支出金	3,101	4,402	1,825
不動産事業支出金	1,452	2,766	1,965
その他棚卸資産	13	14	12
短期貸付金	547	563	953
繰延税金資産	404	424	380
その他流動資産	622	548	384
貸倒引当金	△72	△63	△72
固定資産	7,807	11,658	11,120
有形固定資産	3,559	7,649	7,164
建物・構築物	3,402	4,416	4,370
土地	1,726	4,709	4,282
その他有形固定資産	247	213	236
減価償却累計額	△1,816	△1,690	△1,725
無形固定資産	107	60	63
投資その他の資産	4,139	3,948	3,892
投資有価証券	651	303	503
長期貸付金	395	419	398
差入保証金	2,785	2,742	2,784
繰延税金資産	—	53	52
その他投資等	667	759	513
貸倒引当金	△361	△329	△360
資産合計	19,260	24,530	20,689

・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

負債の部	当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末	前連結会計年度末(参考)
(科目)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
流動負債	11,395	13,565	10,068
支払手形・工事未払金等	2,261	2,657	2,262
短期借入金	5,348	5,296	5,223
1年以内償還予定社債	157	50	207
未成工事受入金	2,749	4,520	1,308
不動産事業受入金	8	17	7
完成工事補償引当金	21	49	71
賞与引当金	92	94	95
その他流動負債	757	879	891
固定負債	5,348	7,246	7,035
社債	1,334	1,500	1,313
長期借入金	2,379	4,229	4,047
預り保証金	1,440	1,425	1,437
長期預り金	—	—	152
退職給付引当金	58	56	57
繰延税金負債	89	2	2
その他固定負債	45	33	24
負債合計	16,744	20,812	17,104
少数株主持分			
少数株主持分	249	274	191
資本の部			
資本金	867	867	867
資本剰余金	549	549	549
利益剰余金	768	2,030	1,979
その他有価証券評価差額金	164	79	81
自己株式	△84	△82	△83
資本合計	2,265	3,443	3,393
負債、少数株主持分及び資本合計	19,260	24,530	20,689

■ 中間連結損益計算書 (自平成17年7月1日 至平成17年12月31日)

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度(参考)
(科目)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
売上高	7,900	11,646	27,756
完成工事高	4,719	5,192	17,999
不動産事業等売上高	2,823	6,262	9,320
その他事業売上高	356	191	437
売上原価	7,003	10,105	24,314
完成工事原価	4,152	4,545	15,887
不動産事業等売上原価	2,491	5,378	7,962
その他事業売上原価	358	180	464
売上総利益	896	1,541	3,442
完成工事総利益	567	647	2,111
不動産事業等総利益	331	883	1,357
その他事業総利益(△損失)	△2	10	△26
販売費及び一般管理費	1,154	1,111	2,283
営業利益(△損失)	△257	430	1,158
営業外収益	24	127	161
受取利息	14	9	42
受取配当金	0	0	3
匿名組合収益	0	110	91
雑収入	9	7	24
営業外費用	174	237	470
支払利息	163	212	379
支払手数料	—	—	21
雑支出	11	24	69
経常利益(△損失)	△408	320	849
特別利益	75	—	—
固定資産売却益	66	—	—
その他特別利益	9	—	—
特別損失	638	52	414
固定資産売却損	40	—	363
固定資産除却損	—	1	1
役員退職慰労金	—	49	49
減損損失	597	—	—
その他特別損失	—	2	—
税金等調整前中間(当期)純利益(△純損失)	△970	267	435
法人税、住民税及び事業税	58	21	83
法人税等追徴税額	—	18	18
法人税等調整額	56	100	143
少数株主利益(△損失)	60	33	80
中間(当期)純利益(△純損失)	△1,145	94	108

・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結剰余金計算書 (自平成17年7月1日 至平成17年12月31日)

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度(参考)
(科目)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	549	549	549
資本剰余金中間期末(期末)残高	549	549	549
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	1,979	2,000	2,000
利益剰余金増加高	—	94	108
中間(当期)純利益	—	94	108
利益剰余金減少高	1,210	64	129
株主配当金	64	64	129
中間純損失	1,145	—	—
利益剰余金中間期末(期末)残高	768	2,030	1,979

・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (自平成17年7月1日 至平成17年12月31日)

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度(参考)
(科目)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△208	3,047	3,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,878	△3,016	△3,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,648	392	△86
現金及び現金同等物の増加額	1,021	422	90
現金及び現金同等物の期首残高	2,459	2,354	2,354
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	—	14
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,481	2,777	2,459

・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間 (自平成16年7月1日 至平成16年12月31日)

	建設事業	不動産事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
(科目)	(百万円)					
売上高及び営業損益売上高						
外部顧客に対する売上高	5,192	6,262	191	11,646	—	11,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	89	6	—	95	(95)	—
計	5,282	6,268	191	11,741	(95)	11,646
営業費用	5,055	5,674	214	10,944	271	11,216
営業利益(△損失)	226	593	△23	797	(367)	430

・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当中間連結会計期間 (自平成17年7月1日 至平成17年12月31日)

	建設事業	不動産事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
(科目)	(百万円)					
売上高及び営業損益売上高						
外部顧客に対する売上高	4,719	2,823	356	7,900	—	7,900
セグメント間の内部売上高又は振替高	56	6	—	62	(62)	—
計	4,776	2,829	356	7,962	(62)	7,900
営業費用	4,692	2,759	398	7,850	307	8,158
営業利益(△損失)	84	70	△41	112	(370)	△257

・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 中間貸借対照表 (平成17年12月31日現在)

(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期	前期(参考)
資産の部			
流動資産	9,853	10,633	7,359
現金預金	3,029	1,770	1,674
受取手形	193	8	9
完成工事未収入金	772	421	771
不動産事業未収入金	71	261	234
販売用不動産	—	257	—
未成工事支出金	2,879	4,175	1,595
不動産事業支出金	1,441	2,319	1,912
材料貯蔵品	12	13	11
繰延税金資産	395	407	372
その他	1,124	1,059	840
貸倒引当金	△67	△61	△63
固定資産	7,330	9,129	8,606
有形固定資産	3,344	4,355	3,839
建物	1,636	1,808	1,732
土地	1,641	2,486	2,032
その他	66	60	74
無形固定資産	26	24	27
投資その他の資産	3,959	4,749	4,739
投資有価証券	612	493	477
その他の関係会社有価証券	—	916	944
長期貸付金	366	397	369
差入保証金	2,717	2,683	2,717
繰延税金資産	—	53	52
その他	624	534	537
貸倒引当金	△360	△329	△359
資産合計	17,183	19,762	15,966

・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

科目	当中間期	前中間期	前期(参考)
負債の部			
流動負債	10,033	11,783	8,322
支払手形	433	611	753
工事未払金	1,365	1,524	1,035
不動産事業未払金	0	0	0
短期借入金	3,955	3,245	3,409
1年以内償還予定社債	157	50	207
1年以内返済予定長期借入金	1,330	1,753	1,493
未払法人税等	3	12	20
未成工事受入金	2,416	4,122	971
不動産事業受入金	5	18	5
完成工事補償引当金	19	47	68
賞与引当金	77	62	76
その他	266	334	280
固定負債	5,039	4,770	4,511
社債	1,334	1,500	1,313
長期借入金	2,121	1,674	1,565
預り保証金	1,431	1,416	1,427
長期預り金	—	—	152
退職給付引当金	53	49	51
繰延税金負債	81	—	—
その他	17	130	—
負債合計	15,072	16,554	12,833
資本の部			
資本金	867	867	867
資本剰余金			
資本準備金	549	549	549
資本剰余金合計	549	549	549
利益剰余金			
利益準備金	149	149	149
任意積立金	1,201	1,201	1,201
中間(当期)未処分利益(△未処理損失)	△728	449	373
利益剰余金合計	622	1,799	1,723
その他有価証券評価差額金	156	74	76
自己株式	△84	△82	△83
資本合計	2,110	3,208	3,133
負債・資本合計	17,183	19,762	15,966

■ 中間損益計算書 (自平成17年7月1日 至平成17年12月31日)

(単位：百万円)

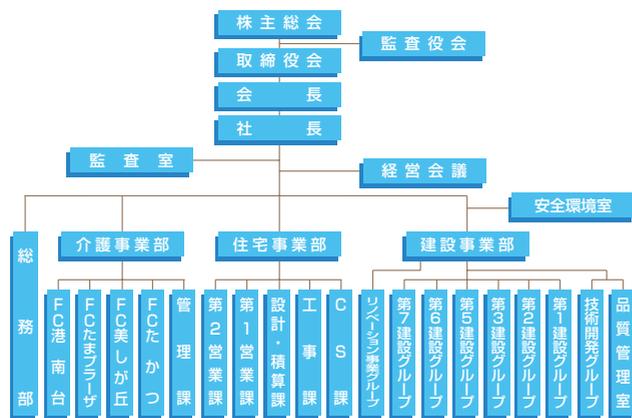
科目	当中間期	前中間期	前期(参考)
売上高	5,926	9,857	23,962
完成工事高	3,478	4,131	15,689
不動産事業売上高	2,093	5,547	7,850
その他事業売上高	354	178	423
売上原価	5,749	8,956	21,855
完成工事原価	3,246	3,725	14,107
不動産事業売上原価	2,144	5,049	7,285
その他事業売上原価	358	180	462
売上総利益	176	900	2,107
完成工事総利益	232	406	1,581
不動産事業総利益(△損失)	△50	497	565
その他事業総利益(△損失)	△4	△2	△39
販売費及び一般管理費	604	589	1,228
営業利益(△損失)	△428	311	878
営業外収益	53	140	168
営業外費用	147	207	409
経常利益(△損失)	△522	243	637
特別損失	452	50	411
税引前中間(当期)純利益(△純損失)	△974	193	226
法人税・住民税及び事業税	4	1	12
法人税等追徴税額	—	18	18
法人税等調整額	57	99	132
中間(当期)純利益(△純損失)	△1,036	74	62
前期繰越利益	308	375	375
中間配当額	—	—	64
中間(当期)未処分利益(△未処理損失)	△728	449	373

・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 会社概要 (平成17年12月31日現在)

商号 工藤建設株式会社
 設立 昭和46年7月1日
 代表者の氏名 工藤 英司
 決算期 毎年6月30日
 従業員数 220名 (男子148名、女子72名)
 事業所
 本社 神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10
 東京支店 東京都港区浜松町2-1-16(第3 粕谷ビル)
 多摩営業所 東京都町田市南大谷1327-153
 大和営業所 神奈川県大和市中央5-13-5
 相模原営業所 神奈川県相模原市上鶴間本町9-36-15
 戸塚営業所 神奈川県横浜市戸塚区名瀬町2189-1(プロデュースヨコハマ内)
 フロレンシアあかつ 川崎市高津区久未1744-2
 フロレンシア美しが丘 横浜市青葉区美しが丘4-43-4
 フロレンシアたづな 川崎市宮前区犬蔵2-17-65

■ 組織図 (平成17年12月31日現在)



(平成18年4月開所予定)

■ 役員及び執行役員 (平成17年12月31日現在)

取締役相談役 工藤 五三
 代表取締役会長 工藤 次郎
 代表取締役社長 工藤 英司
 取締役 工藤 隆晃 (建設事業部長)
 取締役 遠山 悌二郎
 常勤監査役 阿久津 治 男
 監査役 八重沢 知 正
 監査役 奥原 章 男
 常務執行役員 神田 良 雄
 執行役員 石田 米 治 (営業担当)
 執行役員 前田 義 仁 (総務部長)
 執行役員 藤井 研 児 (介護事業部長)
 執行役員 小坂橋 洋 之 (住宅事業部長)

■ 連結子会社の状況 (平成17年12月31日現在)

会社名	資本金 (百万円)	議決権比率 (%)	主要な事業内容
(株)日建企画	50	40	建物総合管理業、不動産の売買・賃貸・仲介及び管理業、各種建設工事業、電気設備工事業、損害保険の代理店業他
(株)サンビルド	50	40	分譲マンションに関する建物総合管理業
(株)東洋リース	10	40	建築機械及び建築資材のリース業並びにレンタル業、とび工事業
(株)みらいテクノハウス	50	40	工務店経営のマネジメント及びコンサルタント業務 建築物の構造、工法等に関する技術開発等
(株)ピーイー・ジー	10	—	不動産の売買・賃貸・仲介業

注) (有)大名ワンは当中間連結会計期間より清算により連結の範囲から除外しておりますが損益計算書のみ連結しております。

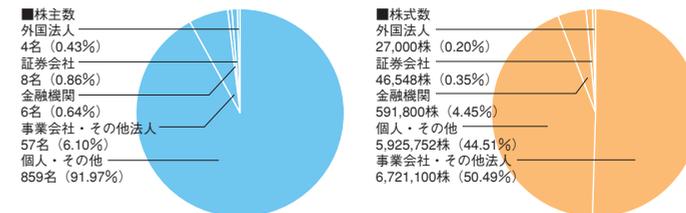
■ 株式の状況

会社が発行する株式の総数 44,000,000株
 発行済株式の総数 13,312,200株
 株主数 934名

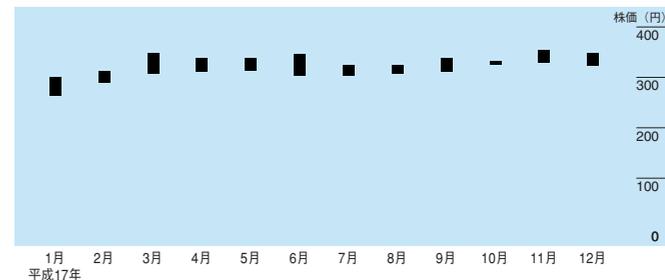
■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	構成比率 (%)
株式会社トップ	5,720	42.97
工藤五三	1,080	8.12
工藤英司	559	4.20
工藤隆司	558	4.19
株式会社横浜銀行	391	2.94
工藤次郎	370	2.78
工藤建設株式会社	323	2.43
有限会社ジービーシー	200	1.50
八重沢知正	190	1.43
株式会社三井住友銀行	114	0.86

■ 所有者区別株式分布状況



■ 株価チャート



株主メモ

決算期 毎年6月30日
 定時株主総会 毎年9月
 基準日 毎年6月30日
 その他必要ある場合は、あらかじめ公告致します。
 利益配当金 毎年6月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払い致します。
 中間配当金 取締役会の決議により、中間配当を実施する場合は、毎年12月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払い致します。

名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒171-8508
 連絡先・送付先 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-707-696(フリーダイヤル)
 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
 公告掲載紙 日本経済新聞

笑顔あふれる介護をご提供



介護付有料老人ホーム・デイサービス・居宅介護支援事業所
フローレンスケア港南台



心地よさを追求する、
それが私たちの原点です。

今春、JR京浜東北線の港南台駅にほど近い閑静な住宅街に、「フローレンスケア港南台」がオープンします。この施設は、33床の介護付有料老人ホームに、定員20名のデイサービスと居宅介護支援事業所を併設した“小規模多機能施設”です。利用者の一人ひとりに、ご満足いただける施設であるのはもちろん、在宅で過ごされる地域の皆様への介護、医療、福祉機関などからの情報提供を含め、最適な介護環境へのアドバイスとご提案をさせていただきます。

お問い合わせは

工藤建設株式会社 介護事業部 ホームページ：<http://www.good-care.jp/>
フローレンスケア入居相談室：【フリーダイヤル】0120-050-910

ホームページへのアクセスを
お待ちしております。

情報満載！

工藤建設のWEBサイトは、お客様とのコミュニケーションのコアとして、充実した情報を提供。物件の紹介・販売にも大きな役割を果たしています。

<http://www.kudo.co.jp/>

